

9・3 講演会にご参加を！

みんなで考えよう

安保法制と改憲の動きは日本をどこに導こうとするのか

安倍政権は昨秋の国会で安保法制を強行採決。さらに参院選の中では語らなかった改憲への意欲を示し始めました。そのベースに据えられるべきだとされる自民党の改憲案は、憲法9条を書き換えて国防軍を持つ、公の秩序の名目の下に基本的人権を制約する、災害などを口実に緊急事態条項を導入して強権発動を可能にするなど、もはや立憲主義に基づく憲法とは言いがたい内容。そして、参院選挙のわずか10時間後に、沖縄高江のヘリパッドの建設再開に乗りだし、激しい住民弾圧を繰り返しています。

憲法の改悪、沖縄の基地建設強行の動きは、日本の防衛や外交の政策にどのような変更を加えようとしているのでしょうか。それは私たち市民の暮らしと未来にどのような影響をもたらすのでしょうか。

安保・軍事問題に詳しい永田研二さんのお話を聞きながら、皆さんと共に考えたいと思います。お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

暮らしは、
未来は、
どうなるの？



テーマ 「新安保体制下で日米軍事同盟がどう深化したか」

お話し 永田研二さん (月刊『たんぽぽ』編集部)

場所 流山市南流山文化センター講義室

つくばエクスプレス / JR武蔵野線の南流山駅から歩いて4分

時間 2016年9月3日(土) 15時30分から